
奉仕の心を

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

奉仕の心を

【Nコード】

N3222P

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

奉仕の心で世界をもっと素晴らしいモノに出来ないでしょうか。

(前書き)

『傲慢』ではなく

福祉・奉仕の世界では『してやってる』という思想は禁忌とされています。

『してやってる』のではなく『させて頂いている』と考えるようにとされています。

この思想を全ての物事に関して、代入する事は出来ないでしょうか。

例えば【小説家になろう】の内に例えると『書いてやってる』『読んでやってる』ではなく、『書かせて頂いている』『読ませて頂いている』強いて云えば『読んで頂く為に書かせて頂いている』『書いて頂いたので読ませて頂いている』というように。もっと云えば『感想を頂いたので、また作品を書かせて頂こうと思う』とか『せっかく読ませて頂いたので、感想を書かせて頂こうと思う』という具合に。

世間一般の物事においても、相手に敬意を払った対応をすれば、もっと素晴らしい世界になるのではないかと思います。

『銀行にお金を預けている』のではなく『銀行にお金を預かって頂いている』。『客の金を預かってやっている』のではなく『お客様をお金を預からせて頂いている』

『コンビニでおにぎりを買ってやった』ではなく『コンビニでおにぎりを買わせて頂いた』。『客におにぎり売ってやった』ではなく『お客様におにぎりを買って頂いた』等というように。

世界の発展の為に良い事なのかどうかは分かりませんが、奉仕の

心を広めさせて頂くと、もつと素晴らしい世界になるように感じます。

(後書き)

相手を敬う事で、物事の見方が変わってくると思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3222p/>

奉仕の心を

2010年12月5日22時28分発行